

日本共産党 時局演説会

会場いっぱい約400人の市民つどう



3月30日にリージョンプラザを会場に行われた日本共産党の時局演説会には、約400人の市民が参加し、小池晃書記局長の話に熱心に耳を傾けました。



ひららぎ 哲也

子育て支援を強めたい。特に給食費ゼロ、子ども医療費ゼロを実現させたい。



上野こうえつ

地域医療を守ることが自分の使命。新潟労災病院をなんとしても存続させる。



はしづめ 法一

災害現場には誰よりも早く駆けつけて被災者の声を聞く。原発の再稼働は許さない。



小池書記局長は、東京電力が選挙戦中の15日に柏崎刈羽原発の原子炉に核燃料を入れると発表したことに言及。制御棒を引き抜けば、核分裂反応が始まり原子炉が起動するが、東電は「制御棒を引き抜くには、地元の理解が必要」としているとして、「ならば、再稼働反対の民意を示そう」「選挙の大争点になる。強引なやり方を許さないためにも共産党の3議席実現を」と呼びかけました。また、1月の能登半島地震で、志賀原発を抱える能登半島での地震では、長期にわたり道路が不通となり、原発事故が発生したら住民の避難などできないと指摘。上越市も今回の地震で国道が不通になったが、市には「複合災害」を想定した計画もないとして、「再稼働など論外であり、福島原発事故を起こした東京電力に原発を動かす資格はない」と力説しました。

さらに小池書記局長は、岸田政権が、英伊と共同開発する次期戦闘機の輸出を閣議決定したことに言及。輸出は「次期戦闘機に限る」「現に戦闘が行われている国は除く」となっているが、「『歯止め』になっていない」と批判。憲法違反の「戦争する国家づくり」を止めるた

めにも選挙での共産党勝利を呼びかけました。

2週間後に迫った市議選について小池書記局長は、「干ばつ地のひび割れ修繕への助成」「住宅リフォーム助成制度の延長」「能登半島地震での一部損壊家屋への10万円支給」など、党議員団の実績を紹介。3人全員を当選させて、小中学校給食費ゼロ・高校卒業までの医療費完全ゼロ・国保税の子ども均等割ゼロや、新潟労災病院存続などを実現させようと訴えました。



日本共産党上越市後援会ニュー入

議員団版 2024年4月7日 <部内資料>

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
絡 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
先 平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田(金谷区))
ホームページ <https://jcpjoetsugiindan.webnode.jp/>